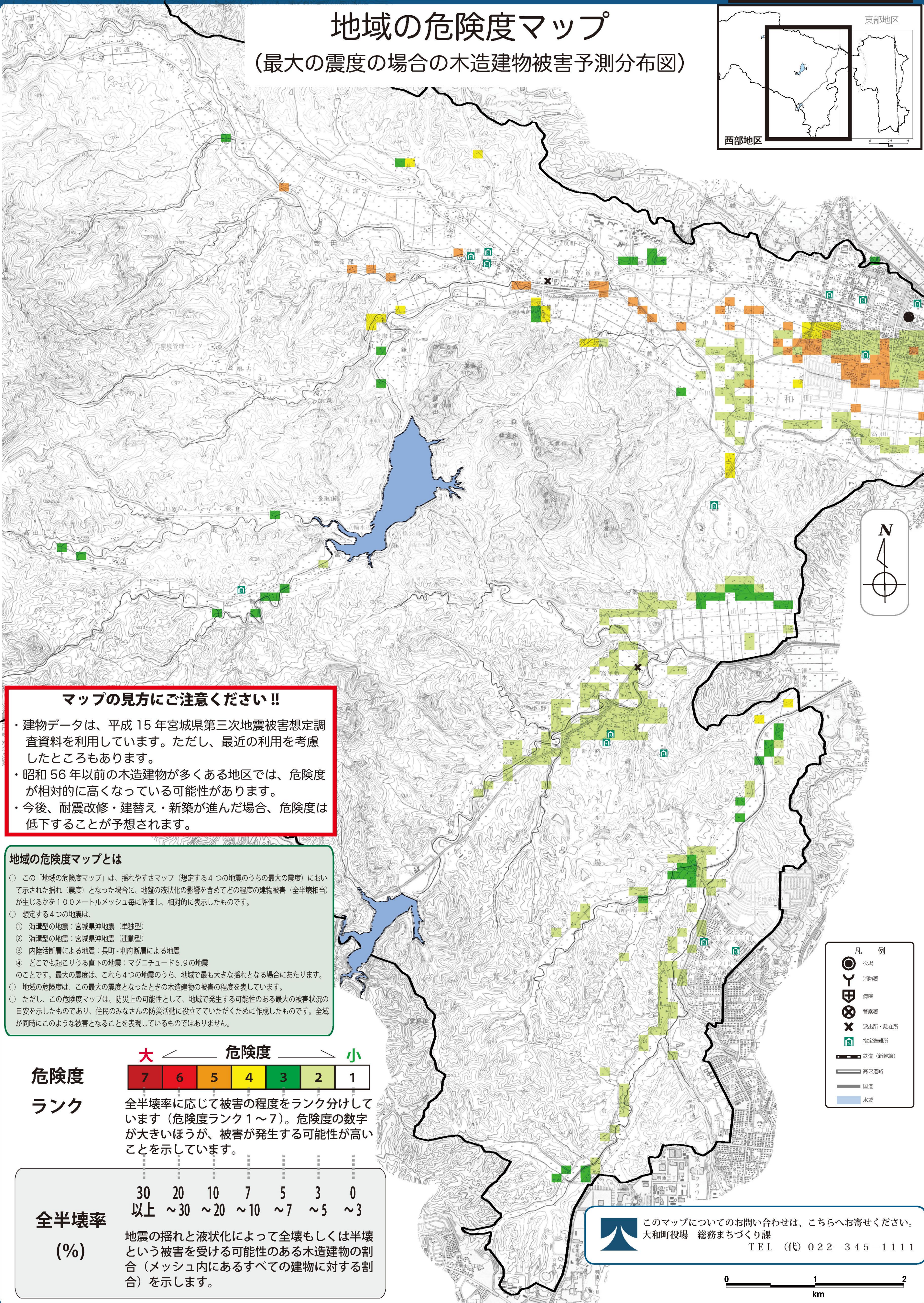
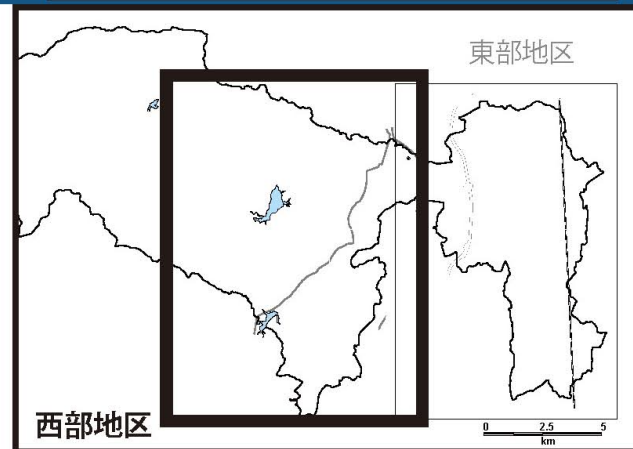


地域の危険度マップ

(最大の震度の場合の木造建物被害予測分布図)



マップの見方にご注意ください!!

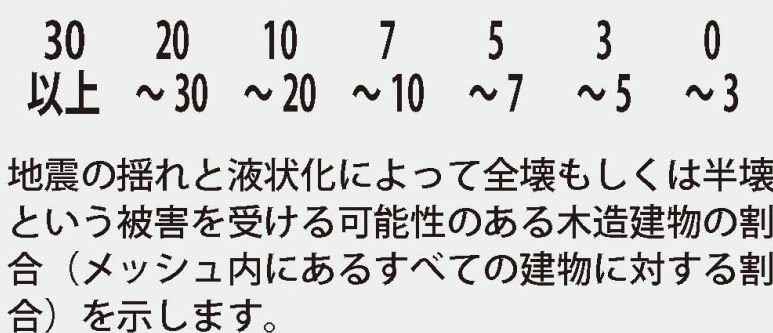
- ・建物データは、平成 15 年宮城県第三次地震被害想定調査資料を利用しています。ただし、最近の利用を考慮したところもあります。
- ・昭和 56 年以前の木造建物が多くある地区では、危険度が相対的に高くなっている可能性があります。
- ・今後、耐震改修・建替え・新築が進んだ場合、危険度は低下することが予想されます。

地域の危険度マップとは

- この「地域の危険度マップ」は、揺れやすさマップ（想定する 4 つの地震のうちの最大の震度）において示された揺れ（震度）となった場合に、地盤の液状化の影響を含めてどの程度の建物被害（全半壊相当）が生じるかを 100 メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものです。
- 想定する 4 つの地震は、
 - ① 海溝型の地震：宮城県沖地震（単独型）
 - ② 海溝型の地震：宮城県沖地震（連動型）
 - ③ 内陸活断層による地震：長町・利府断層による地震
 - ④ どこでも起こりうる直下の地震：マグニチュード 6.9 の地震のことです。最大の震度は、これら 4 つの地震のうち、地域で最も大きな揺れとなる場合にあたります。
- 地域の危険度は、この最大の震度となったときの木造建物の被害の程度を表しています。
- ただし、この危険度マップは、防災上の可能性として、地域で発生する可能性のある最大の被害状況の目安を示したものであり、住民のみさんの防災活動に役立てていただくために作成したものです。全域が同時にこのような被害となることを表現しているものではありません。



全半壊率 (%)



- #### 凡 例
- 役場
 - 消防署
 - 病院
 - 警察署
 - 派出所・駐在所
 - 指定避難所
 - 鉄道（新幹線）
 - 高速道路
 - 国道
 - 水域



このマップについてのお問い合わせは、こちらへお寄せください。
大和町役場 総務まちづくり課
TEL (代) 022-345-1111

